



▲花育教室で地元の花にふれる機会をつくっています



▲交通安全花束運動の様子。ドライバーに交通安全を呼びかけます

地域の話題

堀切校区

花で地域を活性化

「花」を中心とした地域活性化を推進している堀切校区コミュニティ協議会からさまざまな取り組みについてお便りが届きました。

地域発!



▲沿道花壇の整備

「日」 本の花の生産地から、日本一花を贈るまちに」というスロー

ガンで「花」に関する取り組みを行っている田原市。堀切校区では、今も昔も「花」を中心とした地域づくりを積極的にを行っています。

交通安全への思いを花に託して

堀切校区では毎年、堀切小学校が中心となつて交通安全花束運動を実施しています。校区には花き生産者が多いことから、地域と学校との連携でこの活動が始まりました。活動の歴史は古く、昭和48年から毎年、5月の大型連休を中心に継続して実施しています。

今年度も4月26日に、国道42号沿いで堀切小6年生20名が、スプレーギクの花束240束を観光などで訪れた

ドライバーに手渡しました。

花は心を癒す効果があります。花を愛でる心で運転してもらい、少しでも悲惨な交通事故が無くなることを願っています。

地域で沿道花壇なども整備

私たちは、地域の環境づくりにも力を入れています。

施設への花の植栽はもちろんのこと、沿道花壇も整備し、花のある地域づくりを目指しています。また、市民館には、花き生産者など地域の方々が栽培した季節の花々が常に飾られています。

さらに、堀切地区には県指定文化財ハマボウの野生地もあります。これを保護するため、下草刈などを実施し、地域一丸となつて保全しています。

花育教室で感性を豊かに

昨年度から、田原市・JA愛知みなみ農畜産物消費宣伝事業推進協議会の応援を受けて、堀切小全児童を対象に花育教室が行われています。自由にフラワーアレンジをすることで、集中力や想像力を高め、感性豊かな子どもを育てることを目的としています。花に対する知識や関心を高めると同時に、自然を思いやる心や、季節感を育成します。

また、最近では校区主催の地元講師による、「市民館 お花教室」も始まっています。小学生を対象に昨年度は延べ190名が参加しました。

これらの活動が一過性のものにならないよう、今後も地元の花材を利用し、地域の特色を生かした活動を、地域住民と共に積極的に実施していきます。

